

令和5年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング 配布資料

活動団体名：一般社団法人 ゴジヨる

活動地域：岩手県 釜石市



一般社団法人

ゴジヨる

活動におけるテーマ

『 地域資源と福祉の連携による
持続可能な課題解決プラットフォーム構築 』

本事業への関わり：1年目

活動団体と地域の紹介

●団体紹介

「地域の課題を連携・協働で解決を促す団体」

東日本大震災からの支援活動経験を生かし2017年に設立。
全てのバショ・ヒト・モノ・コトがつながりあい、
社会に「新しい互助を創る」という創業の精神から。



●地域の現状と課題

<福祉分野>

1. 加速度的な人口減少と少子高齢化
2. 地域経済の疲弊に伴う福祉的支援が必要な人の就労先の減少
(ミドルシニア・シニア層、若年無業者)

<環境分野>

3. 地主の高齢化・引き受け手不足による山林の荒廃
4. (3)に伴う山林火災・台風災害発生時の土石流被害の拡大
5. 地域資源の掘り起しやビジネス面でのブラッシュアップ



活動計画（概要）

地域プラットフォームを形成して 解決したい地域の課題

- a. 地域経済の弱体化
- b. 福祉的支援が必要な人の就労先の減少
- c. 木材の価格低下、流通コストの上昇
- d. 森林、山の管理不足
- e. 電力コスト上昇による経営の圧迫
- f. 獣害による畑の被害

地域の課題が解決された状態

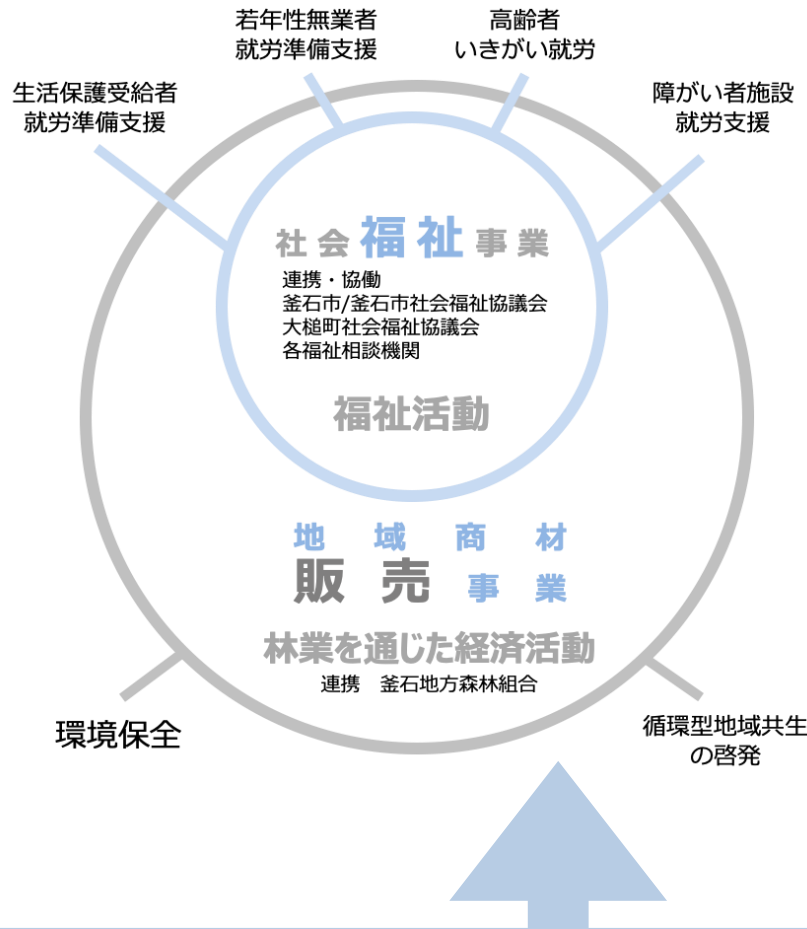
誰もが住み暮らす街で持続的に選択と言う豊かさを失わず最後まで生活が出来るよう地域資源を最大限活用しその価値を向上させる。また、それにより多くのステークホルダーが生まれ、環境と福祉が地域のストーリーテーマになることで持続可能性を高めた地域になることを目標とします。

環境整備を通して構築する“地域プラットフォーム”のイメージ（体制、機能、規模感、等）

- ①森林資源を活用した経済モデルによる「孤立」「孤独」「困窮」の解消
総売上高6000万円、活動登録者数 120名、年間活動者延べ人数 9000名、地域内再投資額2500万円
- ②森林資源の独自収益を見据えた商品群の構築
- ③地域課題から能動的な社会変革者へ
本PF参加企業10社、参加個人13名（市民活動へ転じた場合を見据え）

目指す“地域プラットフォーム”のイメージ

現時点での体制



左図は、現在行っている
①林福連携事業(福祉的支援
対象者による就労の場の提
供と木質資源の利用拡大)の
PF体制

以下は今後、構築予定

②薪ボイラーによる熱源利
用の促進PF

③獣害対策のためのラベン
ダー活用PF

足りない資源（ヒト、モノ、資金、情報、等）※地域内、外も含む

- ・ 活動者数（ミドルシニア・シニア層、若年無業者）
- ・ 設備投資の資金
- ・ 地域資源の提供者、協力者（森林組合、漁協組合、商品開発会社 etc.）
- ・ 販売先（小売業、キャンプ場、etc）

年間スケジュール

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
事業全体の予定	◆キックオフ 協定締結										◆成果報告会 ◆活動団体成果報告書提出
話を聞きに行く		ラベンダー 先進地視察		間伐事業者の アンケート実施		釜石市にて調査 (農林水産資源)					
地域のコンセプトを描く				木質資源利用 促進イベント				ラベンダー提携先との ワークショップ開催			
事業のストーリーを語る (事業のタネを作る)		提携先と会議								マイクロボイラー 実証実験	
みんなで目指す目標を立てる			プラットフォーム 形成会議			プラットフォーム 形成会議					